

GSI Creos

Produce the Future 次代を創る

INDEX

株主の皆さまへ	P1
セグメント別概況	P4
地域別売上高	P5
トピックス	P6
連結財務諸表	P7
会社概要および株式の状況	P9

第91期 株主通信

2020年4月1日から2021年3月31日まで

株式会社GSIクレオス

証券コード 8101



株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、第91期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の営業を終了いたしましたので、ここに営業の概況と決算をご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

代表取締役
社長執行役員

吉永直明

第91期の業績

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い経済活動が制限され、非常に厳しい状況で推移しました。また、世界経済においても、一部の業種を除き回復基調にあるものの、全体的には先行き不透明な状況が続きました。

こうした中、当社グループにおきましては、繊維原料や生地の取引が低調に推移したものの、国内外の繊維事業拠点が連携し、医療・衛生消耗品の需要に対応しました。また、ホビー関連商材では、海外市場開拓・深耕に向けた施策が奏功するとともに、国内の巣ごもり需要を取り込んだことにより、売上が伸長しました。

この結果、売上高は、前期比826百万円、0.7%増収の116,375百万円となり、売上総利益は、前期比2,260百万円、18.2%増益の14,644百万円となりました。また、営業利益は、

前期比2,440百万円、204.8%増益の3,632百万円となり、経常利益は、前期比2,487百万円、205.0%増益の3,700百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前期比1,017百万円、100.8%増益の2,026百万円となり、過去最高益を更新しました。

第91期の業績

売上高	116,375百万円	前期比	0.7%
営業利益	3,632百万円	前期比	204.8%
経常利益	3,700百万円	前期比	205.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,026百万円	前期比	100.8%

次期の見通し

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、依然として経済への影響が予測困難な状況が続くものと思われます。

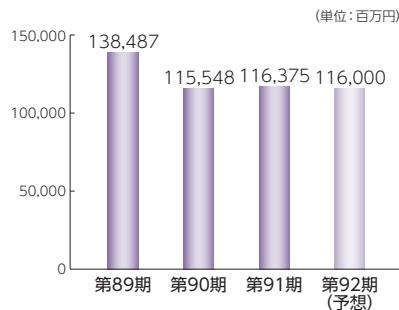
こうした状況下、当社グループのさらなる「進化と成長」を目指し、「環境」、「生活・健康」、「エネルギー」分野における事業の育成・拡大に向けて、グループの連携をより一層強化し、感染症収束後の新しい環境の変化に対応してまいります。

第92期の業績予想

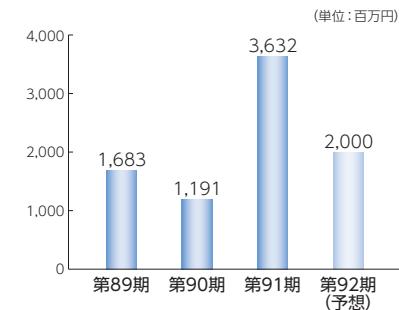
売上高	116,000百万円 ^(注1)
営業利益	2,000百万円
経常利益	2,000百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,500百万円

業績の推移(連結)

売上高



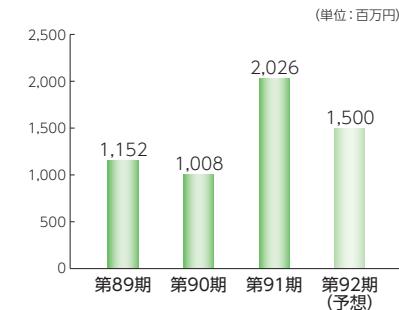
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益^(注2)



配当金/配当性向



(注) 1. 第92期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等が適用となるため、第92期の業績予想(売上高)につきましては、当該会計基準等を適用した後の金額を記載しております。

2. 当社は、2021年4月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を実施しており、第89期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

中期経営計画（2018-2020）の総括

中期経営計画（2018-2020）は、当期に最終年度を終え、変更後の業績数値目標（売上高：110,000百万円・営業利益2,100百万円・経常利益2,000百万円・親会社株主に帰属する当期純利益：1,300百万円、2020年8月3日に公表）を達成することができました。高付加価値商材への取り組みを強化し、利益率を改善したことが達成の大きな要因です。

計画スタート年度の前年度（第88期）と当期（第91期）の実績を比較して、経常利益率は2.1ポイントアップしており、これにより経常利益も2,198百万円増加しました。

なお、新たな中期経営計画につきましては、2021年度中に策定いたします。

重点施策の実施状況

1. 海外売上高の拡大

- ・2拠点を新設（中国および米国）
- ・国内外のグループ企業の連携を強化
 - ⇒コロナ禍での医療・衛生消耗品の需要に対応
 - ⇒アウトソーシングの中国内販ビジネスを育成
 - ⇒海外ホビー市場で売上伸長

2. 収益性の向上

- ・素材力および充実した生産体制の活用により、繊維製品ビジネスを強化
- ・「環境関連事業」を推進
 - ⇒生分解性プラスチック市場に参入
 - ⇒アパレル分野におけるサーキュラーエコノミー実現のためのアパレルブランドをスタート
- ・自社ブランドおよび自社ECサイトを拡充

3. 人材の充実と働き方改革への対応

- ・教育・研修制度を体系化
- ・ICT導入により業務効率を改善
- ・在宅勤務等を推進
- ・「テレワーク勤務制度」を導入（本年4月1日）

4. 内部統制システムの充実とリスク管理の徹底

- ・グループ監査体制を整備
- ・コーポレート・ガバナンス体制を強化
 - ⇒業務執行機能および監督機能を強化

経常利益率および経常利益の推移



株主還元について

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要政策と位置付け、安定的かつ継続的な利益還元を実施するとともに、配当性向25%以上を目指すことを基本方針としております。

この方針にもとづき、当期につきましては、1株につき前期比15円の増配となる60円の配当を実施させていただきます。また、次期の配当金につきましては、1株につき30円の普通配当に加え5円の「創立90周年記念配当」を実施することにより、合計で1株につき35円となる予定です。

なお、当社は、2021年4月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を実施しております。次期の配当金につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載しておりますが、株式分割実施前の基準に換算すると、1株につき70円（普通配当60円・記念配当10円）となります。

自己株式の取得につきましては、次期に300千株を上限とする取得および消却を実施いたします。

セグメント別概況

繊維事業

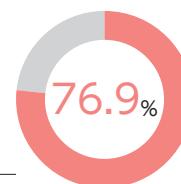
主要商品：

繊維原料、テキスタイル、
レッグ・インナー・
アウターウェア 他

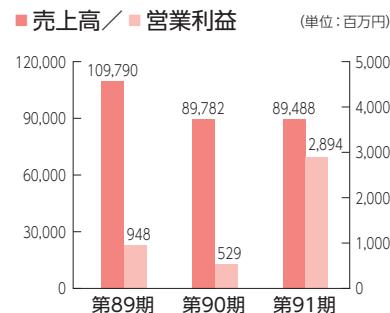


売上高	89,488百万円	
前期比		△0.3%
営業利益	2,894百万円	
前期比		446.5%

売上高構成比



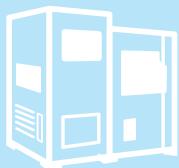
- インナー用機能系・生地の海外販売およびパンスト・タイツ用加工系の取引が減少しました。
- 婦人ファンデーションの取引は増加しました。
- 欧米向けのアウター用生地取引およびアウター製品の取引は低調に推移しました。
- 国内外のグループ企業の連携により、医療・衛生消耗品の需要に対応しました。



工業製品事業

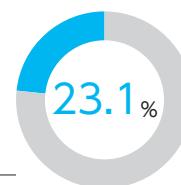
主要商品：

化学品、機械・材料、
ホビー・生活関連品 他

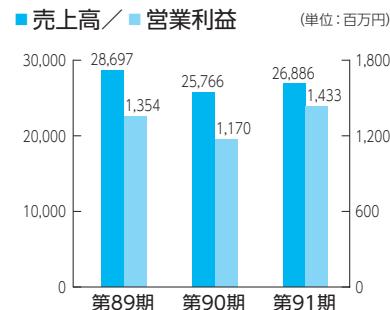


売上高	26,886百万円	
前期比		4.3%
営業利益	1,433百万円	
前期比		22.4%

売上高構成比



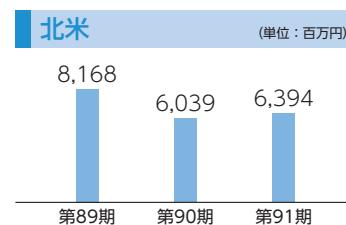
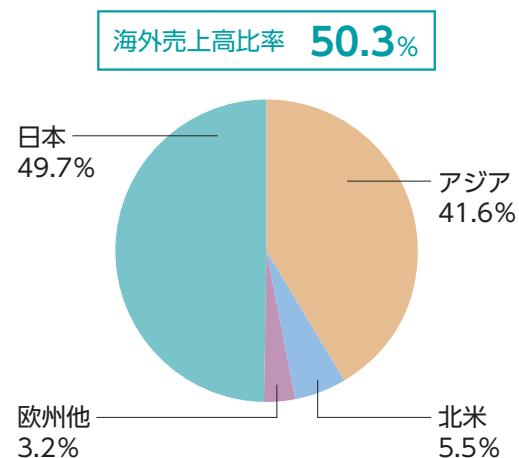
- フィルム関連の取引が低調に推移しましたが、塗料原料および米国における化学品の取引は増加しました。
- 機械・機器の取引は減少しました。
- ホビー関連の取引は、国内、海外向けともに大きく伸長しました。
- 「環境関連事業の拡大」における生分解性プラスチック関連の取引では、ストローなど用途が広がっています。
- ナノテクノロジー事業は、カップ積層型カーボンナノチューブ「カルベール®」の特長を活かし、複合材や塗料などの分野において事業化を進めています。



海外ネットワーク



地域別売上高構成比



■ アパレルブランド「ビオロジックフィロソフィ」を立ち上げ ーアパレル分野におけるサーキュラーエコノミーの実現のためにー



当社は、本年3月にアパレルブランド「BIOLOGIC PHILOSOPHY（ビオロジックフィロソフィ）」を立ち上げ、オンラインサイトでの販売を開始しました。

「様々な人や企業を繋ぎ、お客様や仲間とともにサーキュラーエコノミー^(注)を実現するためのグリーンファッションを考える」をコンセプトに、主にレディース向けのアウトター製品や小物などを展開しています。裁断くずを再利用した糸・生地や、染色に水を極力使用しないデニム生地など、廃棄物の削減と汚染の軽減に寄与する素材を採用していることがこのブランドの特長です。

女性ファッション雑誌の公式サイトで紹介され、銀座ロフトのサステナブルをコンセプトとしたイベントにも参加したことなどから注目を集めており、今後も積極的なプロモーション活動を行い、ブランドの認知度を高めてまいります。

(注) これまで廃棄されていた製品や原材料などを新たな資源として捉え、廃棄物や汚染を発生させることなく、それらを資源として循環させる（使い続ける）経済の仕組み。

ビオロジックフィロソフィ 公式サイト <https://biologicphilosophy.jp/>

■ ブラジルで透析クリニックを開業 ー南米透析装置ビジネスの拡大に向けてー

当社は、本年2月に病院経営で豊富な実績を有するブラジル現地企業と共同で、サンパウロ市郊外のサントスに透析クリニック「Fenix Praiamar-Serviços Médicos Ltda」を開業いたしました。

当社が南米で販売している、東レ・メディカル株式会社製の透析装置を設置し、高度な治療を提供するとともに、ブラジル内外の医療従事者に向けた同装置のショールームとして機能させることにより、南米透析装置ビジネスを拡大させてまいります。

今後、サンパウロ市東部のタトゥアペでも透析クリニックの開業を予定しており、ブラジルにおける治療拠点の拡充に貢献してまいります。



透析ルームの様子

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期	当期	
	2020年3月31日現在	2021年3月31日現在	
資産の部	流動資産	48,258	47,387
	固定資産	10,273	13,077
	有形固定資産	4,425	4,148
	無形固定資産	463	357
	投資その他の資産	5,384	8,572
資産合計	58,532	60,465	
負債の部	流動負債	38,599	35,875
	固定負債	739	1,350
負債合計	39,339	37,225	
純資産の部	株主資本	19,550	21,301
	その他の包括利益累計額	△357	1,938
純資産合計	19,193	23,239	
負債純資産合計	58,532	60,465	

ポイント①
資産

投資有価証券の増加などにより、前期末比1,932百万円の増加。

ポイント②
負債

仕入債務の減少などにより、前期末比2,113百万円の減少。

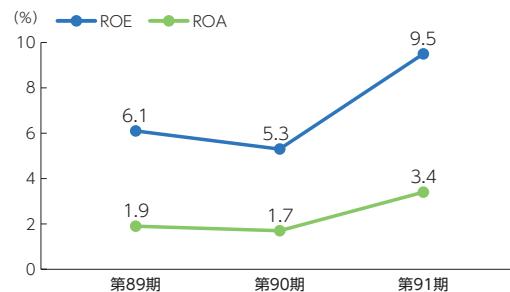
ポイント③
純資産

親会社株主に帰属する当期純利益による株主資本の増加や、当社の半導体関連の投資先である上海硅産業集団股份有限公司(National Silicon Industry Group Co., Ltd.)の上場に伴うその他有価証券評価差額金の増加などにより、前期末比4,046百万円の増加。

純資産(百万円)／総資産(百万円)／自己資本比率(%)



ROE(%)／ROA(%)



連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2019年4月1日～ 2020年3月31日	2020年4月1日～ 2021年3月31日
売上高	115,548	116,375
売上原価	103,164	101,730
売上総利益	12,384	14,644
販売費及び一般管理費	11,193	11,012
営業利益	1,191	3,632
営業外収益	297	314
営業外費用	275	246
経常利益	1,213	3,700
特別利益	42	-
特別損失	11	369
税金等調整前当期純利益	1,245	3,331
法人税等合計	236	1,305
親会社株主に帰属する当期純利益	1,008	2,026

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2019年4月1日～ 2020年3月31日	2020年4月1日～ 2021年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	913	5,379
投資活動による キャッシュ・フロー	△828	△115
財務活動による キャッシュ・フロー	△577	△2,438
現金及び現金同等物の 期末残高	11,899	14,594

ポイント④ 売上高

繊維原料や生地が取引が低調に推移するも、医療・衛生消耗品の需要に対応したこと、ホビー関連商材の売上高が伸長したことなどから、前期比826百万円の増加。

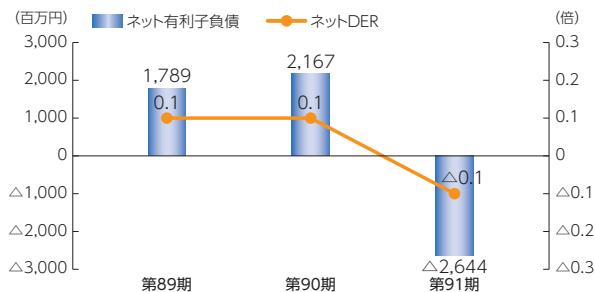
ポイント⑤ 営業利益

売上総利益率の改善および販売費及び一般管理費の減少により、前期比2,440百万円の増加。

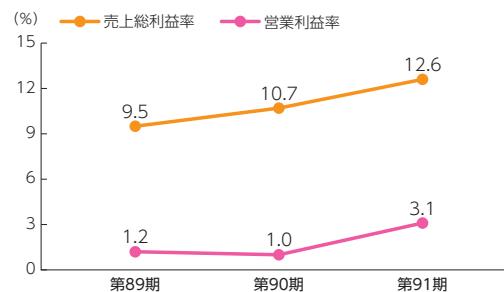
ポイント⑥ 親会社株主に 帰属する当期純利益

特別損失に子会社資産の減損損失などを計上するも、営業利益の増加などにより、前期比1,017百万円の増加。過去最高益を更新。

ネット有利子負債(百万円)／ネットDER(倍)



売上総利益率(%)／営業利益率(%)



会社概要および株式の状況

■会社の概要 (2021年3月31日現在)

会社名	株式会社GSIクレオス		
本社	東京都千代田区九段南二丁目3番1号		
設立	1931年10月31日		
資本金	71億86百万円		
従業員数	691名(連結)		
拠点	国内 7ヶ所	海外	20ヶ所
連結子会社	国内 9社	海外	7社
ホームページ	https://www.gsi.co.jp		

■役員 の状況 (2021年6月25日現在)

取締役

代表取締役	吉永直明*	<監査等委員> 取締役 常勤監査等委員	荒木靖司
取締役	中山正輝*	社外取締役 監査等委員	早野貴文
取締役	大西文博*	社外取締役 監査等委員	加藤芳江
取締役	西村裕樹*		
社外取締役	服部和徳		

* 執行役員兼務者

執行役員

社長執行役員	吉永直明	執行役員	田村雄一
専務執行役員	中山正輝	執行役員	竹淵弘明
常務執行役員	大西文博	執行役員	浜野公義
常務執行役員	西村裕樹	執行役員	佐藤大助
常務執行役員	新美一夫	執行役員 (ナノテクノロジー事業専任)	柳澤隆
執行役員	小野国広	執行役員 (自動車軽量化事業専任)	上村泰二郎
執行役員	羽田努	執行役員 (アパレル事業専任)	大賀浩司

■株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	6,464,971株 (自己株式191,443株を含む。)
株主数	6,479名

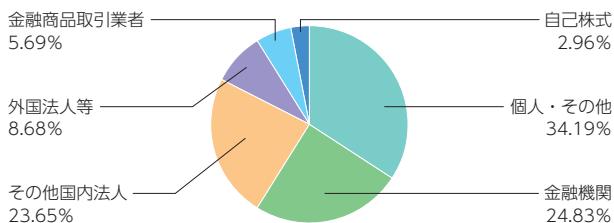
大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
グンゼ株式会社	932	14.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	296	4.72
日本生命保険相互会社	232	3.71
東レ株式会社	198	3.16
株式会社三菱UFJ銀行	189	3.02
株式会社みずほ銀行	189	3.02
株式会社北國銀行	136	2.17
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	107	1.72
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE	92	1.48
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	75	1.20

(注) 1. 当社は、自己株式を191,443株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率につきましては、自己株式(191,443株)を控除して算出し、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

株主構成(所有者別株式数の割合)



■株主メモ

証券コード	8101
上場証券取引所	東京
単元株式数	100株
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告 当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載アドレス https://www.gsi.co.jp/ir/notice (ただし、電子公告によることができない 事故、その他やむを得ない事由が生じた ときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株式分割のお知らせ

当社は、2021年4月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株とする株式分割を実施しております。

- 株式分割により、投資単位当たりの金額を引き下げ、より一層投資しやすい環境を整えることで、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としています。
- 2021年4月1日現在、当社の発行可能株式総数は40,000,000株に、発行済株式の総数は12,929,942株にそれぞれ増加しております。

株主優待制度について



株主の皆さまの日頃のご支援に感謝して、下記の株主様に株主優待品（QUOカード）を贈呈しております。

対象となる株主様

9月30日（基準日）現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式100株（1単元）以上を保有されている株主様。

贈呈の時期

12月初旬に中間株主通信と併せて発送いたします。

株主優待の内容

保有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	QUOカード 1,000円分
1,000株以上	QUOカード 2,000円分

当社ホームページ(IR情報ページ)のご案内

当社ホームページのIR情報のページでは、決算短信や有価証券報告書等のIR情報をご覧いただけます。より詳細な情報につきましては、下記のアドレスにアクセスくださいますようお願いいたします。

<https://www.gsi.co.jp/ir>

GSI *Creos*

